

東日本大震災に係る県有建築物の昇降機被害状況

— 調査報告 —

平成23年12月

宮城県土木部設備課

目 次

1	はじめに	．．．．．	－ 1 －
2	調査概要	．．．．．	－ 1 －
3	被害概要	．．．．．	－ 1 －
4	昇降機仕様（地震管制・停電管制）	．．．．．	－ 2 －
5	耐震クラス別被害概要	．．．．．	－ 3 －
6	資料 「東日本大震災における県有建築物昇降機調査結果一覧」	．．．．	－ 5 －

1 はじめに

平成23年3月11日14時46分頃に発生した「平成23年東北太平洋沖地震」は、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という我が国観測史上最大規模地震であり、栗原市で最大震度7、東北から北関東にまたがる広い範囲で震度6強の強い揺れを観測した。また、三陸沿岸では30m、仙台湾岸の砂浜海岸でも10mを超える大津波が発生し、沿岸地帯に壊滅的な被害をもたらした。

昇降機は1971年の米国サンフェルナンド地震、1978年の宮城沖地震及び1995年の兵庫県南部地震を契機として耐震設計・施工指針が見直されてきているが、今回、県有建築物の昇降機の被害状況を把握するため調査を実施したものである。

2 調査概要

調査方法は設備課から昇降機を所管する127施設を対象に調査票を送付し、99施設182基の回答を得た。

表-1 調査件数

昇降機		エスカレーター	計
乗用	荷物用		
177	1	4	182

3 被害概要

回答を得た182基の被害概要は次のとおりであり、3分の1の61基が被災しており、建物全体の被災により復旧不可能な6基を含め15基が運転不能な状況となっている。

また、被害額は回答のあった32基(被災対象の52%)に限っては45,217千円となっている。

表-2 被害件数

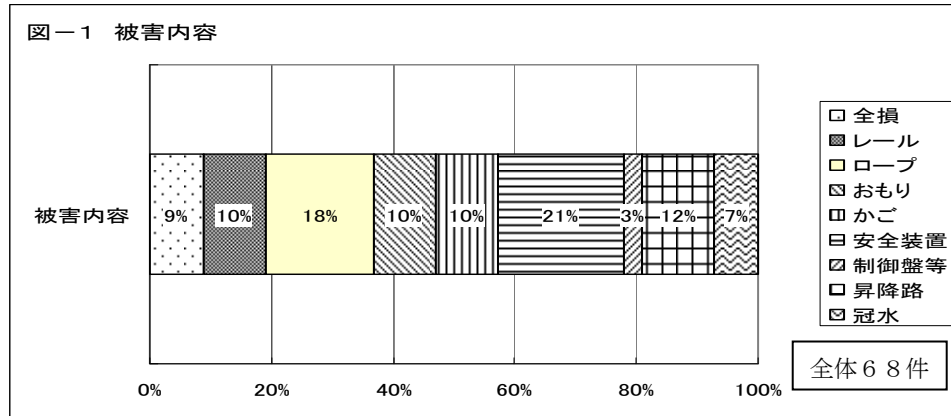
原因別被害件数(エスカレーター 内数)				被害額
地震による被害	津波による被害	建物・他工作物破損による二次被災	計	
44 (1)	10	7	61 (1)	45,217千円 (32基)

表-3 原因別未復旧件数及び理由

地震による被害	津波による被害	建物・他工作物破損による二次被災	計
6	6	3	15
修理未了 6	建物被害甚大 5 修理未了 1	建物被害甚大 1 修理未了 2	

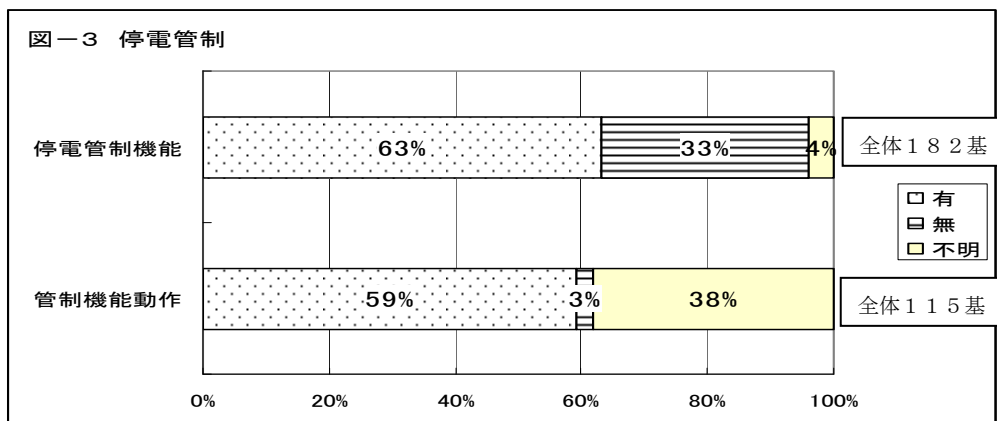
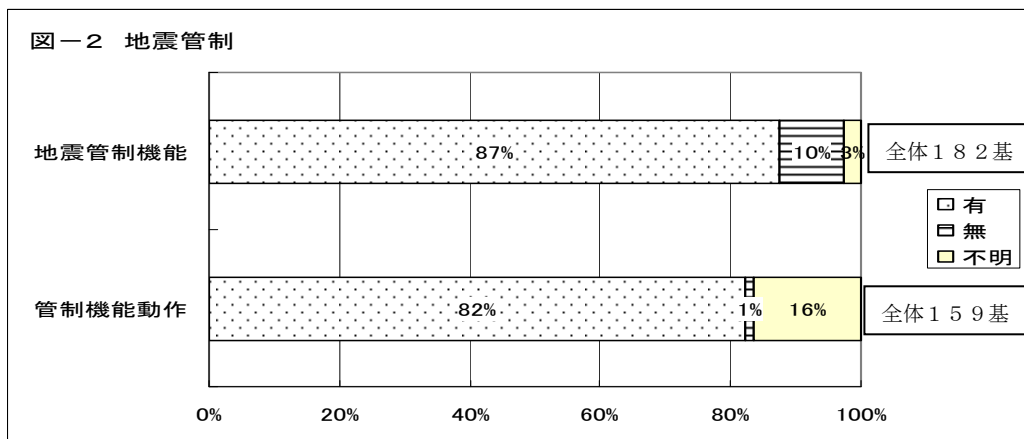
被害内容は図-1のとおりである。最多となるのが地震管制装置等故障やガイドシュー変形などの安全装置関係が21%（14件）、次にロープ引っ掛かりなどロープ関係が18%（12件）となっている。また、建物の被害が甚大なため解体等を計画しているものは全損とし9%（5件）となっている。

「閉じ込め」は1件あり1時間で救出されているが、地震管制及び停電管制付で管制運転が機能したとの回答であった。なお人身事故はなかった。



4 昇降機仕様（地震管制・停電管制）

回答のあった昇降機182基のうち、地震管制機能付87%（159基）及び停電管制機能付63%（115基）に対し、それぞれ82%（131基）及び59%（68基）が管制運転が機能したとの回答を得た。

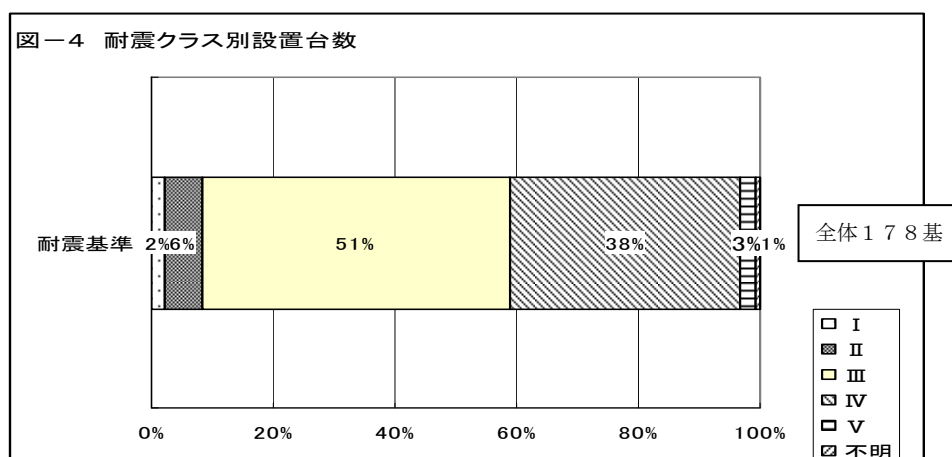


5 耐震クラス別被害概要

昇降機の耐震設計・指針は大規模地震を契機に改正が行われてきており、その経緯は表－４のとおりである。今回調査した昇降機を便宜的に竣工年で耐震区分と対比すると、エスカレーター４基を除く１７８基のうち８９％（１５７基）がⅢ及びⅣとなっているが、２％（４基）がⅠに該当する。

表－４ 耐震設計・指針の経緯

区分	年代	契機となった地震・耐震対策	竣工年による区分
I	自主基準	～1972 各メーカー独自基準	～1971
II	旧基準	1972～1981.2 米国サンフェルナンド [※] 地震 ・かご、おもりのレールからの外れ防止 ・巻上機、制御盤の倒れ防止 など	1972～1981
III	新基準	1981.3～1998.3 宮城県沖地震 ・つり合いおもりのレール外れ ・機械の転倒 ・ロープの引っ掛かり	1982～1997
IV	新・新基準(98)	1998.4～2009.9 兵庫県南部地震 ・耐震クラス S, A, B, の導入 ・おもりブロック脱落防止	1998～2008
V	新・新基準(09)	2009.9～ ・耐震 S09、A09 ・おもりブロック脱落防止の強化 ・P波管制+S波管制 ・ロープ外れ防止の強化 など	2009～



区分別における全体の被害件数は、図－５に示すように設置数（全体の８９％１５７基）が多いⅢ及びⅣが８９％（５４基）となっている。また、建物や他設備の被害に伴う二次災害及び津波による冠水被害を除いてもⅢ及びⅣの被害が９２％（４２基）となっている。

また、区分Ⅴについては、昇降路内に鉄骨が突き出ている事例が１基あるが昇降機被害としてはゼロであった。

図-5 耐震クラス別被害件数

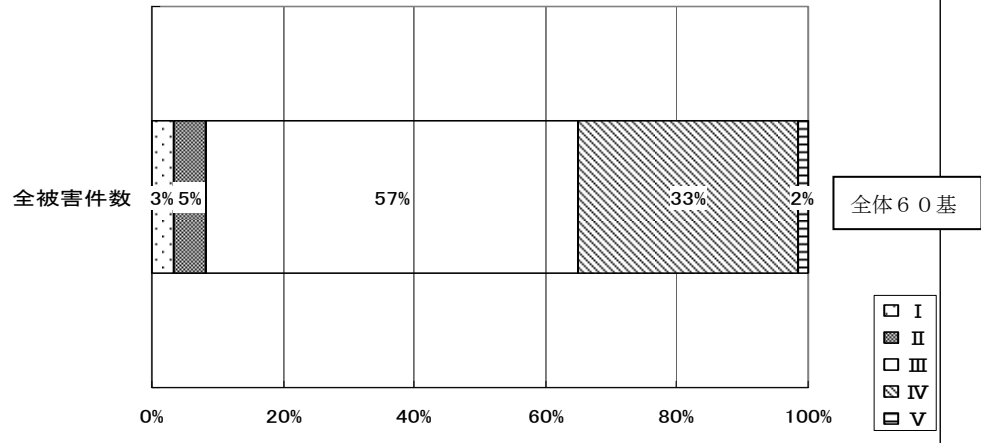
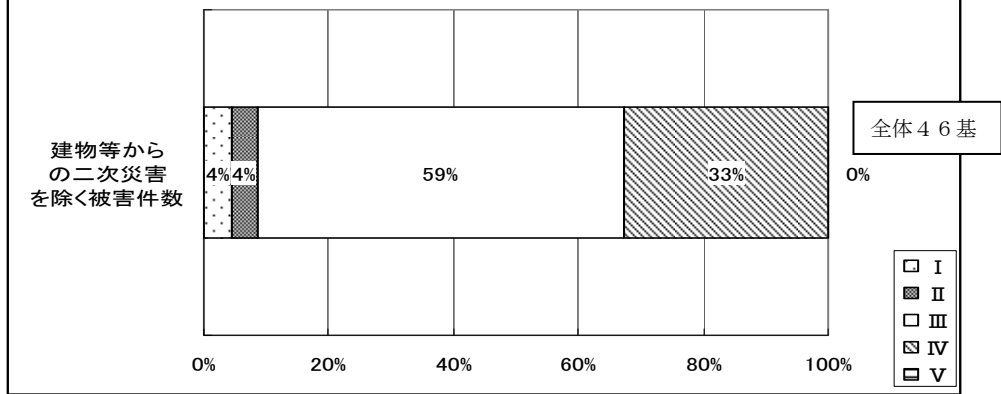


図-6 建物等からの二次災害を除く被害件数



— 資 料 —

東日本大震災における県有建築物昇降機調査結果一覧

東日本大震災における県有建築物昇降機調査結果一覧

NO.	用途 乗用・人荷用:1 荷物用:2	積載重量 〇名または 〇kg	竣工年 (西暦)	耐震 I:1971以前 II:1972~1981 III:1982~1997 IV:1998~2008 V:2009~	地震時保守業者 I:メーカー系 II:独立系 III:その他 IV:不明	地震管制機能 有:1 無:2	地震管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	停電管制機能 有:1 無:2	停電管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	閉じ込め 発生 有:1 無:2	閉じ込め「有」の時の 救出者 位置:1 保守業者:2 施工業者(メーカー):3 その他:4	閉じ込め「有」の 場合、救出 までの所要時間(概ねで可)	地震後の臨時 点検の有無 有:1 無:2	地震または津波による被害 の有無 有(地震):2 有(津波):2 有(建物等):3 無:4	被害「有」の場合、その内容	被害区分 1:全損 2:レール 3:ロープ 4:おもり 5:かご 6:安全装置 7:冠水 8:制御盤等 9:昇降路 10:乗り場		被災「有」の 場合、復旧 済み:1 未了:2	復旧費用 または見込み 額 (千円)	昇降機の現 状 通常運転:1 運転不可の ため休止:2	備考 (その他特筆事項があれば記入願います。)
																3	6				
1	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み、負荷検出異常	3		1	0	1	No.1
2	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1				1	0	1	No.2
3	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	負荷検出異常	6		1	0	1	No.3
4	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み(他の構成品にロープが引っかかった。)	3		1	0	1	No.4
5	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み、負荷検出異常	3	6	1	0	1	No.5
6	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.6
7	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1				1	0	1	No.7
8	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.8
9	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み、基盤損傷	3	8	1	214	1	No.9 基盤交換
10	1	1,600	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.10
11	1	1,150	1988	III	I	1	1	2		2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.11
12	1	1,600	1988	III	I	1	1	2		2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.12
13	1	1,300	1988	III	I	1	1	1	1	2			1	4				1	0		No.14
14	1	1,350	1986	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.1
15	1	1,350	1986	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み	3		1	0	1	No.2
16		750	1986	III	I	1	1	1	1	2			1	1	ロープ回り込み、シャフト損傷	3	9	1	0	1	No.3
17	1	9名	1994	III	I	1	3	1	3	2			1	4							
18	1	9名	1994	III	I	1	3	1	3	2			1	4							
19	1	9名	1994	III	I	1	3	1	3	2			1	4							
20	1	9名	1994	III	I	1	3	1	3	2			1	4							
21	1	9名	1994	III	I	1	3	1	3	2			1	1	ガイドシュー不良	6		1	0	1	
22	1	11人750kg	1982	III	II	1	1	2		2			1	1	かご係り合い装置の破損	5		1	60	1	
23	1	13人900kg	2000	III	II	1	1	1	3	2			1	4							
24	1	750kg	1997	III	I	1	1	1	3	2			1	4							
25	1	750kg	1997	III	I	1	1	1	3	2			1	1	釣り合いおもりケース破損	4		1		1	
26	1	750kg	1997	III	I	1	1	1	3	2			1	1	釣り合いおもりケース破損	4		1		761	1
27	1	11名	1994	III	III	1	1	1	1	2			1	4							
28	1	11名	1990	III	II	1	1	2		2			1	4							
29			1991	III	IV									2				2		2	建物全体が被災し、解体予定
30			2001	IV	IV									2				2		2	建物全体が被災し、解体予定
31	1	不明 (資料数)	1971	I	I	2		2		2			2	1	4階昇降扉脱落	1		2		2	建物被災が大きかったため、エレベータ単体での点検、復旧は検討しなかった。
32	1	13名	1999	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
33	1	11名750kg	1991	III	II	1	1	1	1	2			2	4							3/17 定期点検
34	1	11名750kg	1991	III	II	1	1	1	1	2			2	4							3/17 定期点検
35	2	200kg	1991	III	II	2		2		2			2	4							3/17 定期点検
36	2	200kg	1991	III	II	2		2		2			2	4							3/17 定期点検
37	2	200kg	1991	III	II	2		2		2			2	4							3/17 定期点検
38	1	11名750kg	2008	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
39	2	200kg	1977	II	II	2		2		2			1	4							
40	1	13名	2005	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
41	1	11名750kg	2000	IV	II	1	1	2		2			1	4							
42	1	13名	2002	IV	II	1	3	1		2			2	4							2月12日の火災により屋内配線が焼損したため、地震時は運転不可能状態であった。(地震による被害は無し)
43	1, 2	不明	1995	III	IV	-		-		2	-	-	2	4	-			-	-		10年程度使用していません。
44	2	13名	2000	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
45	1	9名	1971	I	I	1	1	1	1	2	-	-	1	1	ロッキングプレート損傷 損傷によるカウンターウェイト落下の恐れ	4		1	315	1	
46	1	14名	1970	I	I	1	1	1	1	2	-	-	1	4	-			-	-		
47	2	400kg	1971	I	I	2		2	-	2	-	-	1	4	-			-	-		
48	2	200kg	不明		I	2		2	-	2	-	-	1	4	-			-	-		
49	1	750kg、11人	1994	III	I	2		2		2			2	4							地震発生時は冬期閉鎖中
50	1	9名/600kg	1995	III	IV	1	3	2		2			2	2	津波による水没	1		2		2	
51	2	300kg	1995	III	IV	1	3	2		2			2	2	津波による水没	1		2		2	
52	1	900kg	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	4							
53	1	1,500kg	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	4							
54	1	13名	2000	IV		不明		不明	3	2			2	1	かごフレーム歪み発生、扉開閉不良、UP・DOWN減速・停止用近接スイッチ 動作不良	5	6	2	10,000	2	震災前から停止
55	1	750kg	1998	IV	I	1	3	1	3	2			2	不明							震災前から休止しており、点検も年に1回実施していた。
56	1	11名/750kg	1972	II	I	1	3	2		2			1	4							
57	1	11名/750kg	1972	II	I	1	3	2		2			1	4							

東日本大震災における県有建築物昇降機調査結果一覧

NO.	用途 乗用・人荷用:1 荷物用:2	積載荷重 ○名または ○kg	竣工年 (西暦)	耐震 I:1971以前 II:1972~1981 III:1982~1997 IV:1998~2008 V:2009~	地震時保守業者 I:メーカー系 II:独立系 III:その他 IV:不明	地震管制機能 有:1 無:2	地震管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	停電管制機能 有:1 無:2	停電管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	閉じ込めの発生 有:1 無:2	閉じ込め「有」の時の救出者 置留:1 保守業者:2 施工業者(メーカー):3 その他:4	閉じ込め「有」の場合、救出までの所要時間(概ねで可)	地震後の臨時点検の有無 有:1 無:2	地震または津波による被害の有無 有(地震):1 有(津波):2 有(建物等):3 無:4	被害「有」の場合、その内容	被害区分		被災「有」の場合、復旧済み:1 未了:2	復旧費用または見込み額 (千円)	昇降機の現状 通常運転:1 運転不可のため休止:2	備考 (その他特筆事項があれば記入願います。)	
																1:全損 3:ロープ 6:安全装置 8:制御盤等 10:乗り場	2:レール 4:おもり 7:冠水 9:昇降路					
58	1	600	1998	IV	I	1	1	1	3	2			1	4								
59	1	600	1998	IV	I	1	1	1	3	2			1	4								
60	1	600kg9名	1979	II	I	1	1	1	2	2			1	4								
61	1	600kg9名	1992	III	I	1	1	2		2			1	4								
62	1	600kg9名	1982	III	I	1	1	2		2			1	1	つり合いおもりレール・ランディングセンサー取替	2	6	1	1,224	1		
63	1	600kg9名	1982	III	I	1	1	2		2			1	3	地震に伴う昇降路外壁破損雨水浸入	9		1	545	1		
64	1	600kg9名	1982	III	I	1	1	2		2			1	3	地震に伴う昇降路外壁破損雨水浸入	9		1	545	1		
65	1	600kg9名	1984	III	I	1	1	2		2			1	2	1階部分浸水(外扉、ハンガーローラー等取替)	7		1	1,489	1		
66	1	600kg9名	2002	IV	I	1	1	2		2			1	4								
67	1	600kg9名	1992	III	I	1	1	2		2			1	4								
68	1	600kg9名	1999	IV	I	1	1	2		2			1	4								
69	1	600	1987	III	I	1	1	2		2			1	4								
70	1	9名	1988	III	I	1	1	2		2			1	4								
71	1	9名	1988	III	I	1	1	2		2			1	1	ガイドシャ-変形、手直しにより復旧。	6		1		1		
72	1	9名	1985	III	I	1	1	2		2			1	2	エレベーターピット冠水により水汲み作業	7		1		1		
73	1	9名 600kg	1990	III	I	1	1	2		2			1	4								
74	1	9名 600kg	1990	III	I	1	1	2		2			1	4								
75	1	9名 600kg	1995	III	I	1	1	1	3	2			1	4								
76	1	9名(600kg)	1991	III	I	1	1	2		2			1	1	3/11震:カテナ-24外れ、3/11震:カテナ-18修理、4/7震:カテナ-外れ、5/13震:レールブッシュ変形(4/13緊急工事)	4	2	6	1	3,722	1	
77	1	9名(600kg)	1994	III	I	1	1	2		2			1	1	4/7震:カテナ-6/11変形(4/9-8修理) カテナ-18にゆがみ発生 応急で使用し後日交換	4	2	6	1	3,488	1	
78	1	9名・600kg	1981	III	I	1	1	2		2			1	4								
79	1	9名・600kg	1998	IV	I	1	1	1	3	2			1	4								
80	1	9名	1986	III	I	1	1	2		2			1	4								
81	1	9名	1986	III	I	1	1	2		2			1	4								
82	1	9名(600kg)	1991	III	I	1	1	2		2			1	1	戸開閉装置スイングアームベアリング破損			1	1	1		
83	1	9名、600kg	1978	II	II	1	3	2		2	2		1	2	ピット内冠水	7		2	2,965	2		
84	1	1000kg	1999	IV	I	1	1	1	1	2			1	1	地震管制機能等の故障	6		1	2,898	1		
85	1	1000kg	1999	IV	I	1	1	1	1	2			1	1	〃	6		2	4,066	2		
86	2	1500kg	1999	IV	I	1	1	1	1	2			1	1	〃	6		2	4,144	2		
87	1	750kg	1999	IV	I	1	1	1	1	2			1	1	〃	6		2	4,237	2		
88	1	750kg	1983	III	III	1	3	2		2			2	4								
89	1	750kg	1995	III	I	1	1	1	1	2			1	4								
90	1	750kg	1997	III	I	1	1	1	1	2			1	4								
91	1	750kg	2000	IV	I	1	1	1	1	2			1	4								
92	1	1150kg	2000	IV	I	1	1	1	1	2			1	1	吊り合いおもりカウンターケース中間ストッパーの落下	4		2	525	2		
93	1	750kg	1997	III	I	1	1	1	1	2			1	4								
94	1	750kg	1997	III	I	1	1	1	1	2			1	4								
95	1	13名/900kg	1999	IV	I	1	3	1	3	2			1	4								
96	1	1000kg	1992	III	II	1	1	1	3	2			1	1	釣り合いおもり用レール破損	2		1	592	1		復旧費用は1・2号機修繕合計額
97	1	1000kg	1992	III	II	1	1	1	3	2			1	1	釣り合いおもり用レール破損、電気配線取付材破損	2		1		1		
98	1	13名	2005	IV	IV	1	1	1	1	2			2	4								
99	1	13名、900kg	2009	V	I	1	3	1	3	2			1	3			9				2	昇降機の被災ではないが、4月7日の余震によりエレベーター昇降路内部壁から鉄骨が出ており、かごと接触するため運転休止中。(校舎災害復旧工事で施工予定)
100	1	11(750)	1996	III	II	1	1	1	2	2			1	4								臨時・定期点検同時期
101	1	13(900)	2007	IV	II	1	1	1	3	2				4								
102	1	900kg(13名)	2010	V	I	1	3	1	3	2			1	4								度重なる余震が原因と思われるブレーキ関連の異常があった。(保守料金内で対応)
103	1	13名	2004	IV	I	1	1	1	1	2			1	4								
104	1	750kg	2010	V	II	1	1	1	1	2			1	4								2010. 2月完成
105	1	750kg	2010	V	II	1	1	1	1	2			1	4								2010. 2月完成
106	1	600kg	2010	V	II	1	3	1	3	2			1	4								追加 2010. 10月完成
107	乗用	900	2007	IV	II	1	1	1	1	2			1	1	かごドアの開閉異常	5		1	422	1		保守業者が非メーカー系であったため、修繕にかなりの日数を要した。
108	1	900kg(13名)	2007	IV	II	1	3	1	3	2			2	4								
109	1	900kg	2004	IV	II	1	3	1	3	2			1	4								
110	1	13名・900kg	2001	IV	II	1	1	1	1	1	2	2	1	1	かご上インダクター交換	5		1	82	1		閉じ込めの原因が地震によるものと推察される。
111	乗用	600kg(9名)	1995	III	II	1	1	1	3	2			2	4								
112	1	750kg	1998	IV	II	1	3	1	3	2			1	4								通常運転可だが、身障者・負傷者対応、荷物運搬時以外は休止状態にしている。
113	1	750kg	2001	IV	II	1	3	1	3	2			1	1	3/11 トア-ソールリフト-2箇不良 4/7 レールブッシュ破損	2		1	531	1		
114	1	900kg	2007	IV	II	1	3	1	3	2			2	4								

東日本大震災における県有建築物昇降機調査結果一覧

NO.	用途 乗用・人荷用:1 荷物用:2	積載重量 〇名または 〇kg	竣工年 (西暦)	耐震 I:1971以前 II:1972~1981 III:1982~1997 IV:1998~2008 V:2009~	地震時保守業者 I:メーカー系 II:独立系 III:その他 IV:不明	地震管制機能 有:1 無:2	地震管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	停電管制機能 有:1 無:2	停電管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	閉じ込めの発生 有:1 無:2	閉じ込め「有」の時の救出者 置管:1 保守業者:2 施工業者(メーカー):3 その他:4	閉じ込め「有」の場合、救出までの所要時間(概ねで可)	地震後の臨時点検の有無 有:1 無:2	地震または津波による被害の有無 有(地震):1 有(津波):2 有(建物等):3 無:4	被害区分 1:全損 2:レール 3:ロープ 4:おもり 5:かご 6:安全装置 7:冠水 8:制御盤等 9:昇降路 10:乗り場	被災「有」の場合、復旧済み:1 未了:2	復旧費用または見込み額 (千円)	昇降機の現状 通常運転:1 運転不可のため休止:2	備考 (その他特筆事項があれば記入願います。)		
115	1	750kg11名	1999	IV	I	1	3	1	3	2			1	4							
116	1	13人	2002	IV	II	1	1	1	1	2			2	2	1回床上55cm浸水、下部絶縁不良、錆		2		2	海水等浸水。施設使用不能。復旧設計中	
117	1	13名900g	2001	IV	II	1	1	1	1	2			1	1	係合装置ローラーカミソリの位置不良		1	0			
118			2004	IV	II									2	ピット内冠水 駆動装置ジョイントバルブシール劣化→下部LS-釣合鍾用LS-P波		1	504			
119	1	900kg	2003	IV	I	1	1	1	1	2			1	4							
120	1	13名	1999	IV	I	1	1	1	1	2			2	4							
121	1	900kg	2005	IV	II	1	3	1	3	2			2	4							
122	1	900kg(13名)	1978	II	II	1	3	1	3	2			2	4						2009年ろう学校小規模改修昇降機工事にて改修	
123	乗用・1	750kg	1993	III	I	1	1	1	1	2			1	4							
124	寝台用・1	750kg	1993	III	I	1	1	1	1	2			1	4							
125	1	750kg	2007	IV	II	1	1	1	3	2			1	3	EV上部の壁に高架水槽があり、地震でひびが入り漏水して、EVコンクリート面からしみ出ている(微量)。		2	1	1	水のしみだしは高架水槽の修繕で収まると思われる。(防水工業者が確認しています)	
126	1	750kg	2007	IV	II	1	1	1	3	2			1	4							
127	1	750kg	2008	IV	II	1	1	1	3	2			1	4							
128	1	750kg	2008	IV	II	1	1	1	3	2			1	4							
129	1	1000kg	1976	II	III	2		2		2			1	1	ドアロック装置の変形		2	113	1	現在災害復旧工事で修繕	
130	1	11名	1974	II	II	1	1	1	1	2	2		1	4							
131	1	11名	1974	II	II	1	1	1	1	2	2		1	4							
132	1	11名	1989	III	II	1	1	2		2	2		1	4							
133	1	定員13名 900kg	2003	IV	I	1	3	1	3	2			2 (毎日の定期)	4							
134	乗用	13名	2003	IV	II	1	1	1	1	2			1	3	棟屋の外部EPJの変形		2	200	1		
135	1	750	1994	III	I	1	1	1	1	2			1	4							
136	2	300	1979	II	I	2		2		2			1	1	カウンターレールブラケット変形		1	100	1	給食用	
137	1	11名	1983	III	II	1	1	2		2			1	4						3/19地震復旧及び通常点検を実施	
138	1	11名	1988	III	II	1	1	2		2			1	4						3/19地震復旧及び通常点検を実施	
139	1	11名	1998	IV	II	1	1	1	1	2			1	4						3/19地震復旧及び通常点検を実施	
140	1	750kg	1991	III	II	1	1	1	1	2			2	4							
141	1	750kg	1985	III	II	1	1	1	1	2			1	4							
142	1	750kg	1994	III	II	1	1	1	1	2			1	4							
143	1	11名750kg	1986	III	I	1	1	2		2			1	4							
144	1	11名750kg	1992	III	I	1	1	2		2			1	4							
145	1	15名1000kg	2008	IV	I	1	1	2		2			1	4							
146	1	13名(900kg)	2004	IV	III	2		2		2			1	1	CCNU基盤・SSリレー・ガバナテンションロープモルタル部破損	8	6	1	351	1	地震時の契約業者の他、平成23年度契約業者であるマルチプライ株式会社にも復旧をお願いしたができなかった。
147	1	750kg(11名)	1989	III	II	1	1	2		2			1	4							
148	1	750kg(11名)	1992	III	II	1	1	2		2			1	4							
149	1	11名	2000	IV	II	1	2	1	2	2			1	4							
150	1	13名	2000	IV	II	1	2	1	2	2			1	4							
151	1	750kg(11名)	1991	III	II	1	1	1	1	2			1	4							
152	1(エスカレーター)		1998			2		2		2			1	4						(1号機)	
153	1(エスカレーター)		1998			2		2		2			1	4						(2号機)	
154	1(エスカレーター)		1998			2		2		2			1	1	デッキプレート変形		1		1	(3号機)	
155	1(エスカレーター)		1998			2		2		2			1	4						(4号機)	
156	1	15名(1000k)	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	1	カゴ横揺れ軽減ストッパー破損交換	5		20	1	(1号機)	
157	1	15名(1000k)	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	1	ガイドジョイント破損交換 カウンター側リニューブルケーター破損交換	6	4	1	103	1	(2号機)
158	1	11名(750kg)	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	4						(3号機)	
159	1	11名(750kg)	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	4						(4号機)	
160	1	13名(900kg)	1998	IV	II	1	1	1	3	2			1	4						(5号機)	
161	1	1000kg	1999	IV	II	1	1	1	1	2			1	4						0	
162	1	1000kg	1999	IV	II	1	1	1	1	2			1	4						0	
163	1	750kg	1999	IV	II	1	1	1	1	2			1	4						0	
164	1	450kg	1999	IV	II	1	1	1	1	2			1	4						0	
165	2	ダムゲージ	1999	IV	II	2		2		2			1	4						0	
166	1	1500kg	1974	II	II	2		2		2			1	4						0	
167	1	1500kg	1991	III	II	2		1	1	2			1	4						0	
168	1	17名	1991	III	I	1	1	1	1	2			1	4							
169	1	17名	1991	III	I	1	1	1	1	2			1	4							
170	1	15名	1991	III	I	1	1	1	1	2			1	4							
171	1	4名	1997	III	I	1	1	1	3	2			1	4							

東日本大震災における県有建築物昇降機調査結果一覧

NO.	用途 乗用・人荷用:1 荷物用:2	積載荷重 ○名または ○kg	竣工年 (西暦)	耐震 I:1971以前 II:1972~1981 III:1982~1997 IV:1998~2008 V:2009~	地震時保守業者 I:メーカー系 II:独立系 III:その他 IV:不明	地震管制機能 有:1 無:2	地震管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	停電管制機能 有:1 無:2	停電管制機能 「有」の場合、動作の有無 有:1 無:2 不明:3	閉じ込めの発生 有:1 無:2	閉じ込め「有」の時の救出者 直営:1 保守業者:2 施工業者(メーカー):3 その他:4	閉じ込め「有」の場合、救出までの所要時間(概ねで可)	地震後の臨時点検の有無 有:1 無:2	地震または津波による被害の有無 有(地震):1 有(津波):2 有(建物等):3 無:4	被害「有」の場合、その内容	被害区分 1:全損 2:レール 3:ロープ 4:おもり 5:かご 6:安全装置 7:冠水 8:制御盤等 9:昇降路 10:乗り場	被災「有」の場合、復旧済み:1 未了:2	復旧費用または見込み額 (千円)	昇降機の現状 通常運転:1 運転不可のため休止:2	備考 (その他特筆事項があれば記入願います。)	
172	1	15名	2004	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
173	1	15名	2004	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
174	1	6名	2004	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
175	1	600Kg	1889	III	II	1	1	1	1	2			1	4							
176	1	750kg	2000	IV	I	1	1	1	1	2			1	3	エレベータピット内の壁破損	9					
177	1	750kg	2000	IV	I	1	1	1	1	2			1	3		9		1	1,000	1	現在施工中の宿舎災害復旧工事と併せて施工しているため、当該箇所の施工は完了しているが、金額は概算額を記載。
178	1	9名(600kg)	1992	III	II	1	1	2		2			1	4							
179	1	13名	1985	III	II	1	1	2		2			1	4							
180	1	11名	1989	III	I	1	1	2		2			1	4							
181	1	13名	1998	IV	II	1	1	1	1	2			1	4							
182	1	11名	1993	III	I	1	1	1	1	2			1	2	エレベータピット部浸水	7		1	不明	1	ピット内の海水を取り除き清掃を行い仮復旧させた状態。今後改修予定。

耐震クラス	保守業者	地震管制	地震管制動作	停電管制	停電管制動作	閉じ込め
I	4	92	有	有	有	有
II	11	76	159	131	115	68
III	90	4	無	無	無	無
IV	67	6	18	2	60	3
V	5	178	不明	不明	不明	不明
不明	1	5	26	7	44	1
	178	182	159	182	115	68

Iの被害件数
IIの被害件数
IIIの被害件数
IVの被害件数
Vの被害件数

被害	件数	被害額	復旧済み	被害額	通常運転
地震によるEV被害	44		45	45,217	45
津波による冠水被害	10		未復旧	32件	運転不可
建築物・他工作物による被害	7		15		13
被害無	61				
不明	120				
	1				
	68				